

キャラクター名  
ガレ・ウォン

プレイヤー名

シンドローム	バロール エグザイル		ワークス	幻想動物A	カヴァー	
	オプション		年齢	不明	性別	女
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	42	%
出自	感情の欠落	経験	放浪	邂逅	腐れ縁	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	68
肉体	2	1	2			5	行動値	1
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	1
精神	2	0	0			2	戦闘移動	6
社会	2	0	0	1		3	全力移動	12

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			RC			交渉	1	
回避	1		知覚			意志			調達	7	
運転:			芸術:			知識:			情報:動物	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
アンチレネゲイドシールド	白兵	5r	12	2		行動値-5
生体特徴:爪	白兵	5r+2	0	6		素手扱い
スワッター	白兵	9r	0	7		コンセ+漆黒の波濤+瞬速の刃

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品		合計装甲:	0	合計回避:	0
戦闘感覚		ロイス			
イクスプローラーブーツ		対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ リス
		屍人	P	N	
		故郷	P 懐旧	N 無関心	
		都築京香	P 感服	N 食傷	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
			P	N	
		最大財産P:	20	残り財産P:	2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセ:バロール	3	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果: メジャー判定のC値-[Lv] (下限7)								
グラビティテリトリー	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 最大HP+[Lv×7]。侵蝕基本値+4								
グラビティガード	3	3	オート	至近	自身	自動	-	
効果: ガード値+(Lv) D10								
孤独の魔眼	1	4	オート	視界	効果参照	自動	-	
効果: 自身を含む対象:範囲が範囲(選択)の攻撃の対象を自身一人に変更する。1シナリオLv回								
漆黒の波濤	1	3	メジャー	武器	範囲(選択)	白兵	-	
効果: 素手の攻撃力+Lv、対象変更。1R1回								
瞬速の刃	3	3	メジャー	武器	-	白兵	-	
効果: ダイス+[Lv+1]								
時間凍結	1	5	INS	至近	自身	自動	80↑	
効果: 追加行動、HP20消費。1シナリオ1回								
魔王の外套	2	5	マイナー	至近	自身	自動	120↑	
効果: シーン中、常時HPダメージ-[Lv×5+5]								
異形の刻印	3	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 最大HP+[Lv×5]。侵蝕基本値+3								
命のカーテン	3	4	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 崩れずの群れで行うカバーの射程を10mにする。1シナリオLv回								
L守護者の巨壁	1	6	オート	視界	効果	自動	リミット	
効果: 対象が攻撃判定を行う直前に使用。その攻撃の対象を自分一人に変更する。1シナリオ1回								
崩れずの群れ	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: 行動を使わずにカバー								
シークレットトーク	★	-	メジャー	視界	単体	自動	-	
効果: オーヴァードにのみ聞こえる言葉で喋れる								

生身での平行世界移動を可能とする異界来訪者、それが彼女ガレ・ウォンである  
感情が死んでいる、と言われるほど無表情で言葉遣いが下手というよりも竜だから人間の感情の機微とかよくわからない  
結果、奇妙な喋り方で相手に伝えたいことを伝えきれなくよく他人の心の微妙なところを刺激して失敗をする事もたびたびとか  
性格は善性よりで行動の起因は善意であるゆえに自分のミスのために酷く狼狽する  
他、自分の感情が薄い事もあいまって熱く激しく生きる人には憧れており祝福を授けようとする(祝福はキスの事。今まで旅してきた世界で特別扱いされていることが多い行為だったため)  
言葉使いが下手:漢字二文字で喋る、オーヴァードには意味は伝わらぬ。そもそも人間の声帯を使うことに慣れておらずちゃんと喋ろうとすると吃音症になる  
彼女が元々いた世界は機械文明も多少はあるがどちらかというとファンタジーな世界であり、彼女はそこに住む竜種だった  
それゆえ彼女は人とは感覚が異なり様々な世界を旅してもその世界の人々の見た目に拒否感や覚えがたに溶け込むために自分の姿を彼らに寄せていった  
……のだが、ここでも彼女のいつものミスが発生  
何度も何度も自分の体を変えていった結果、元に戻らなくなったのだ  
まあ、戻らないものは仕方ないので色々な種族の特徴が体に残ったまま次の世界へと向かった  
「傾聴(私は他の世界からここへ来ました。あなたを助けるためです)」  
「守護(この身は盾となり、あなたを万難から護りましょう)」  
「訂正(されど、障害を越えるのはあなた自身の力です。私はその背中を支えるのみ)」  
取得候補  
エフェクト:  
拒絶領域3(25)  
孤独の魔眼1(15)

